夢 あきた台神トピックス



窓口で強盗に対応する職員

組合員の声を反映した運営に どへの多様な意見を踏まえ、

JAでは事業や組織運営な

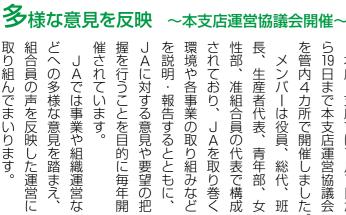
防犯意識の向上へ ~防犯訓練で対応確認~

殊詐欺被害の対応としての訓 実施されました。職員は犯人 奪って逃走するという想定で 物を突き付けて現金を要求し、 狙う強盗事件を想定し防犯訓 一連の流れを訓練しました。 となり、金融窓口で職員に刃 の対応、警察官への対応等 強盗模擬訓練終了後は、 訓練は警察署員が強盗犯役

警察署の指導で、金融機関を

藤里支店は12月6日、

白神ねぎ部会(大塚和浩部



メンバーは役員、

総代、班

練も実施し、防犯意識の向上

本店・支店では12月12日か

向けて、

肥料等の資材につい

て講習を受けました。

な施肥等、改めて管理のポイ

参加者は災害に強い効果的

女性部二ツ井支部は12月12

んを確認しておりました。

を図りました。

握を行うことを目的に毎年開 を説明・報告するとともに、 環境や各事業の取り組みなど 催されています。 されており、 JAに対する意見や要望の把 生産者代表、青年部、女 准組合員の代表で構成 JAを取り巻く





挨拶をする工藤組合長(藤里支店運営協議会)

熱心に聴講する生産農家

内の小学校へ寄贈することと

しております。

例や、 や肥料メーカー、 新年度に向けた栽培管理等を 生育状況を振り返りながら、 栽培講習会を開催し5年度の 会長)は12月12日、 ねぎ栽培先進地の取り組み事 課の担当者など約88名が参加 講習会には白神ねぎ生産者 災害に強いねぎ栽培に 能代市ねぎ 白神ねぎ

演を行いました。 て笑いを誘いながら説明。 害状況や熊の生態などについ 高博康氏が今年の農作物の被連合猟友会・常盤支部長の大 状況について」と題し、 回目の冬期講座を行いました。 オルなど、 など寸劇を交えて、 後半は雑巾作りを行ってお 講座では「今年の熊の被害 熊と出会った時の対処法 部員ら

乃名が参加し第 年度内には寄贈された夕 集まった雑巾を管 楽しく講 山本 ま



熊(街二ツ井支店長)と出会った時の対処法学ぶ

秋田県農業協同総合青年部일組会 立70周年記念式典 および 令和5年度 秋田県JA青年大会

将来に向け青年部の存在意義を確認した青年大会

青年部の未来語る

~青年部協議会70周年祝う~

また、県JA青年部協議会の展望を語りました。 また、県JA青年部協議会 できゅう 活動縮小 JA青年部に 女 活動縮小 JA青年部に は未来はあるのか?~どうす は未来はあるのか?~どうす は未来はあるのか?~どうす は未来はあるのか?~どうする が田県農業?どうするJA でい、未来を見据えた秋田県農業の展望を語りました。 大会の青年の主張発表には、大会の青年の主張発表には、大会の青年の主張発表にはいませんがい」ととしての使命とやりがい」ととしての使命とやりがい」ととしての使命とやりがい」といいでは、新規就農によりである。 し、優秀賞に輝きま-



主張発表をする大塚さん

地域の環境保全へ

では、これまでの活動を振り返り、典と県JA青年大会を開催し、12月4日、創立70周年記念式を別田県農協青年部協議会は

地域農業振興へ決意を新たにこれまでの活動を振り返り、

利用に役立てることにしてお 施しており、 ことで環境保全と資源の有効 次回は3月を予定してお

手際よく荷下ろし作業をする職員

営農センターに搬入され、 肥料袋や古くなった育苗箱

が回収されました。 は延べ52人。9トンの廃プラ プラを持ち込んだ農家組合員 農業用ビニ―ル資材などが各 廃プラ回収作業は年3回実 リサイクルする

学びました。 では「介護と終活のお話」を 催日程と今期、 部員ら27名が参加。今後の開 毎年農閑期の冬に開く講座で

初となる講座

介護の難しさなどを実感して を交えて説明。 の目的と意味を具体的な事例 なった時の基礎知識や、 が講師となり、 講座では経済部の高橋次長 参加者は家庭 介護が必要と



部員の交流などを目的に、 の開講式を行い



家庭内介護に理解を深めた参加者

収作業が11月30日に、管内3

農業用廃プラスチックの回

地区の営農センターで一斉に